

「文化芸術」についてのアンケート結果

本県では、令和3年3月に滋賀県文化振興基本方針(第3次)を策定し、「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」を基本目標として、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりなどに取り組んでいます。

こうした取組をより効果的に進めるため、県民の皆さんの文化芸術に関する意識や行動の把握を目的として、アンケートを実施しました。

★調査時期：令和6年9月

★対象者：県政モニター299人

★回答数：249人（回収率83.3%）

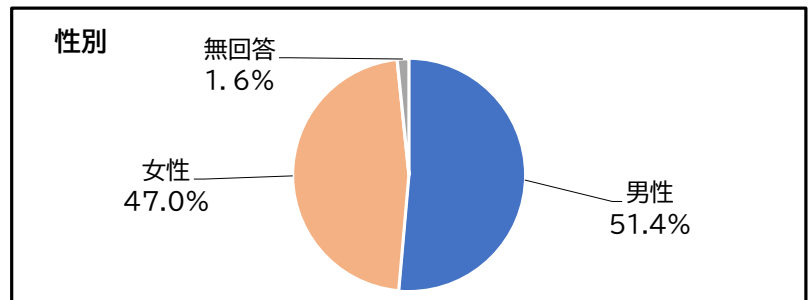
★担当課：文化スポーツ部 文化芸術振興課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

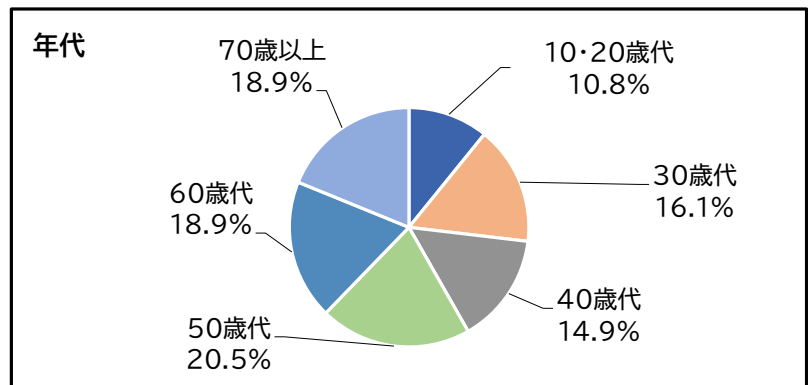
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	128	51.4
女性	117	47.0
無回答	4	1.6
合計	249	100.0



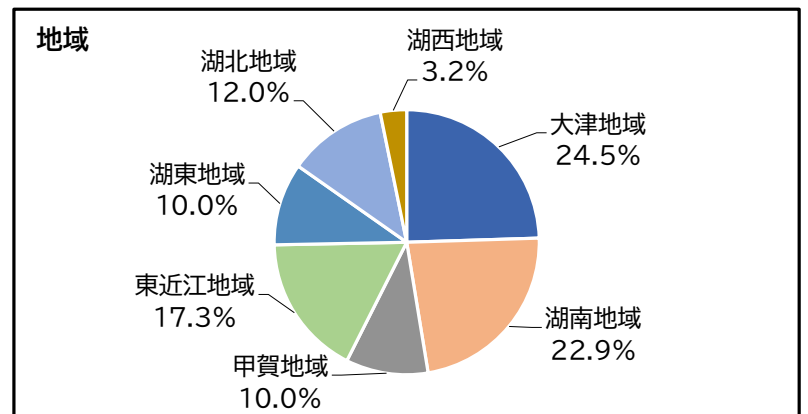
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	27	10.8
30歳代	40	16.1
40歳代	37	14.9
50歳代	51	20.5
60歳代	47	18.9
70歳以上	47	18.9
合計	249	100.0



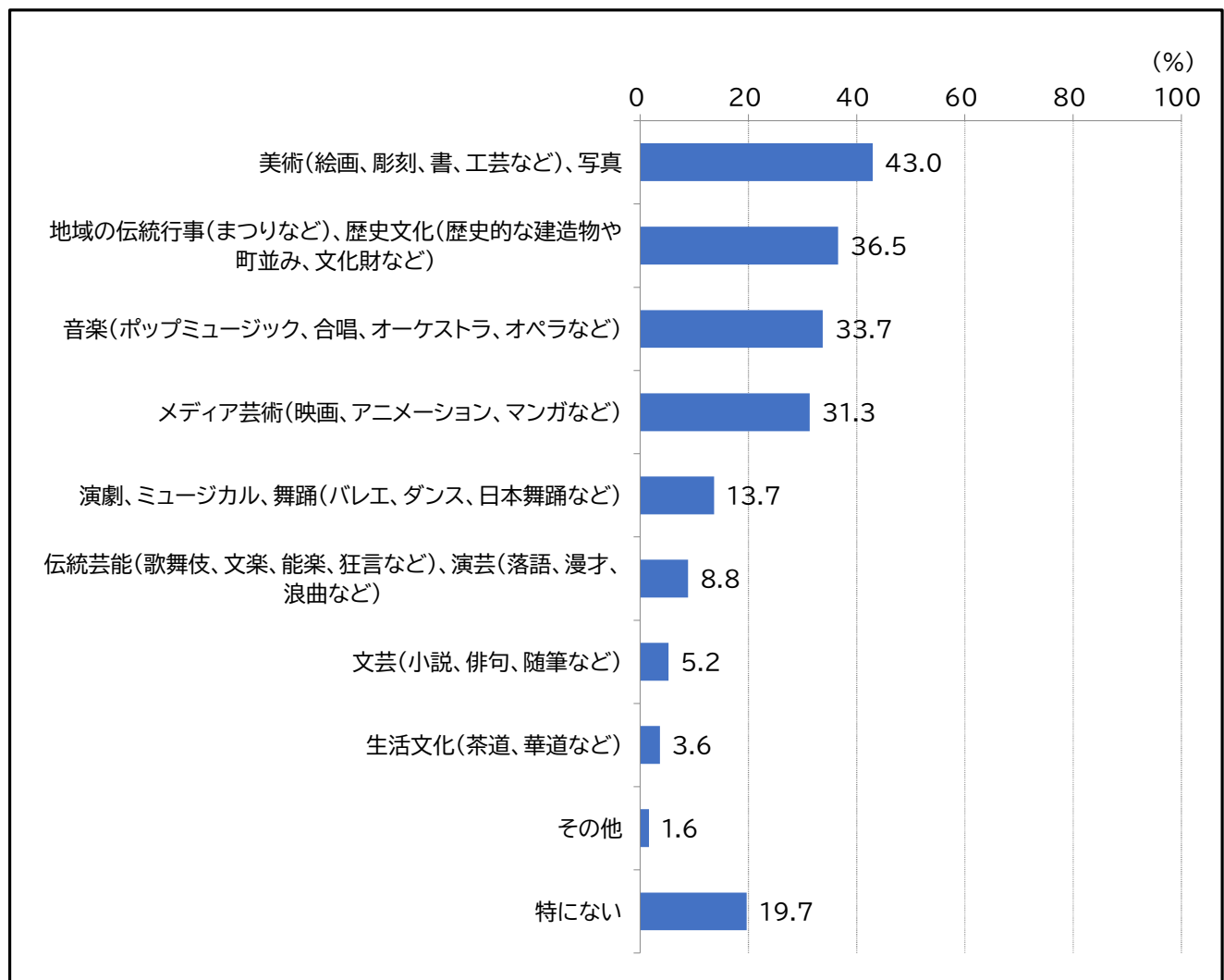
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	61	24.5
湖南地域	57	22.9
甲賀地域	25	10.0
東近江地域	43	17.3
湖東地域	25	10.0
湖北地域	30	12.0
湖西地域	8	3.2
合計	249	100.0



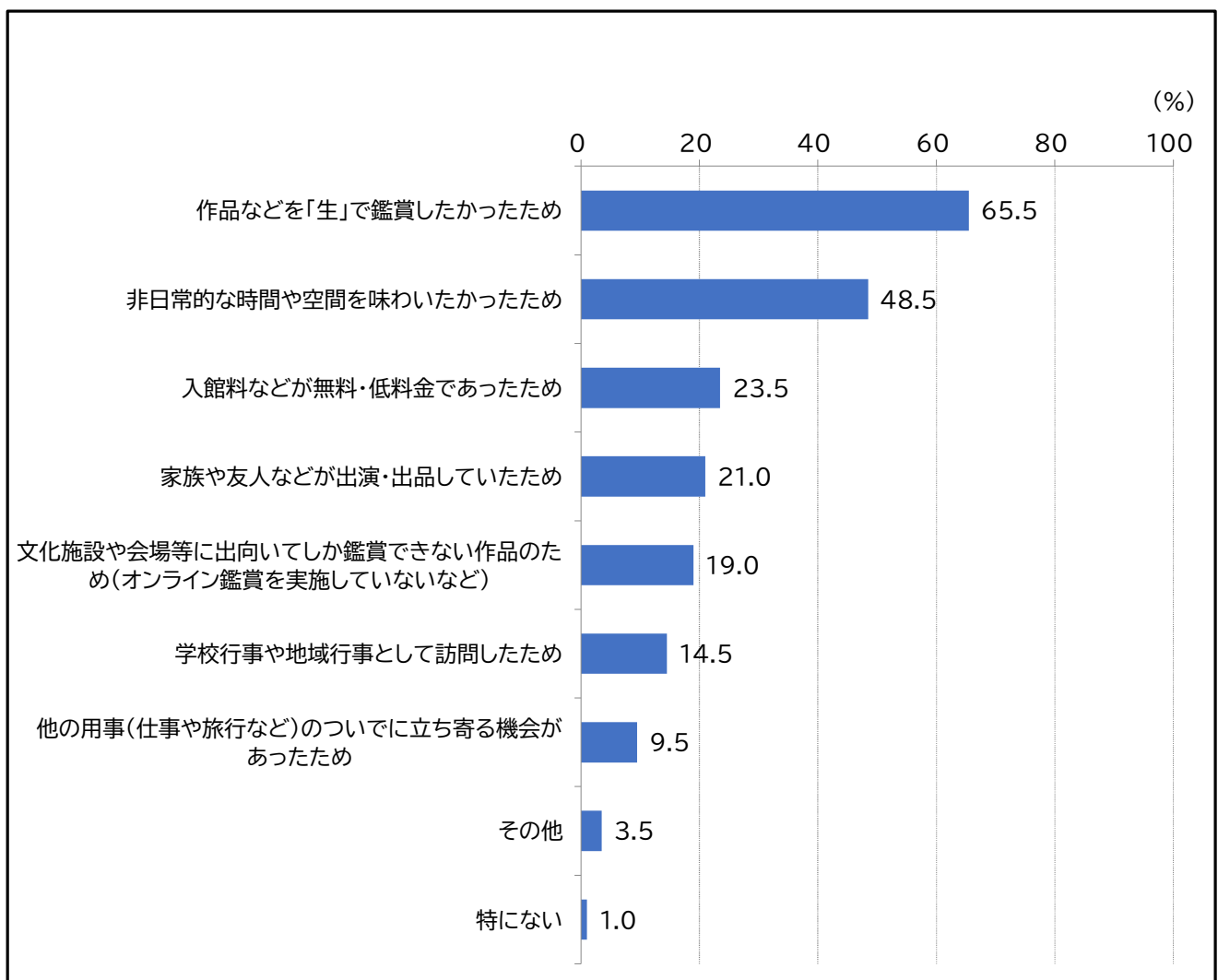
問1 過去1年間に、あなたが文化施設(美術館、文化ホール、映画館等)や会場等に出向いて鑑賞したものは何ですか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸など)、写真	107	43.0
地域の伝統行事(まつりなど)、歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	91	36.5
音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	84	33.7
メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	78	31.3
演劇、ミュージカル、舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	34	13.7
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)、演芸(落語、漫才、浪曲など)	22	8.8
文芸(小説、俳句、随筆など)	13	5.2
生活文化(茶道、華道など)	9	3.6
その他	4	1.6
特にない	49	19.7



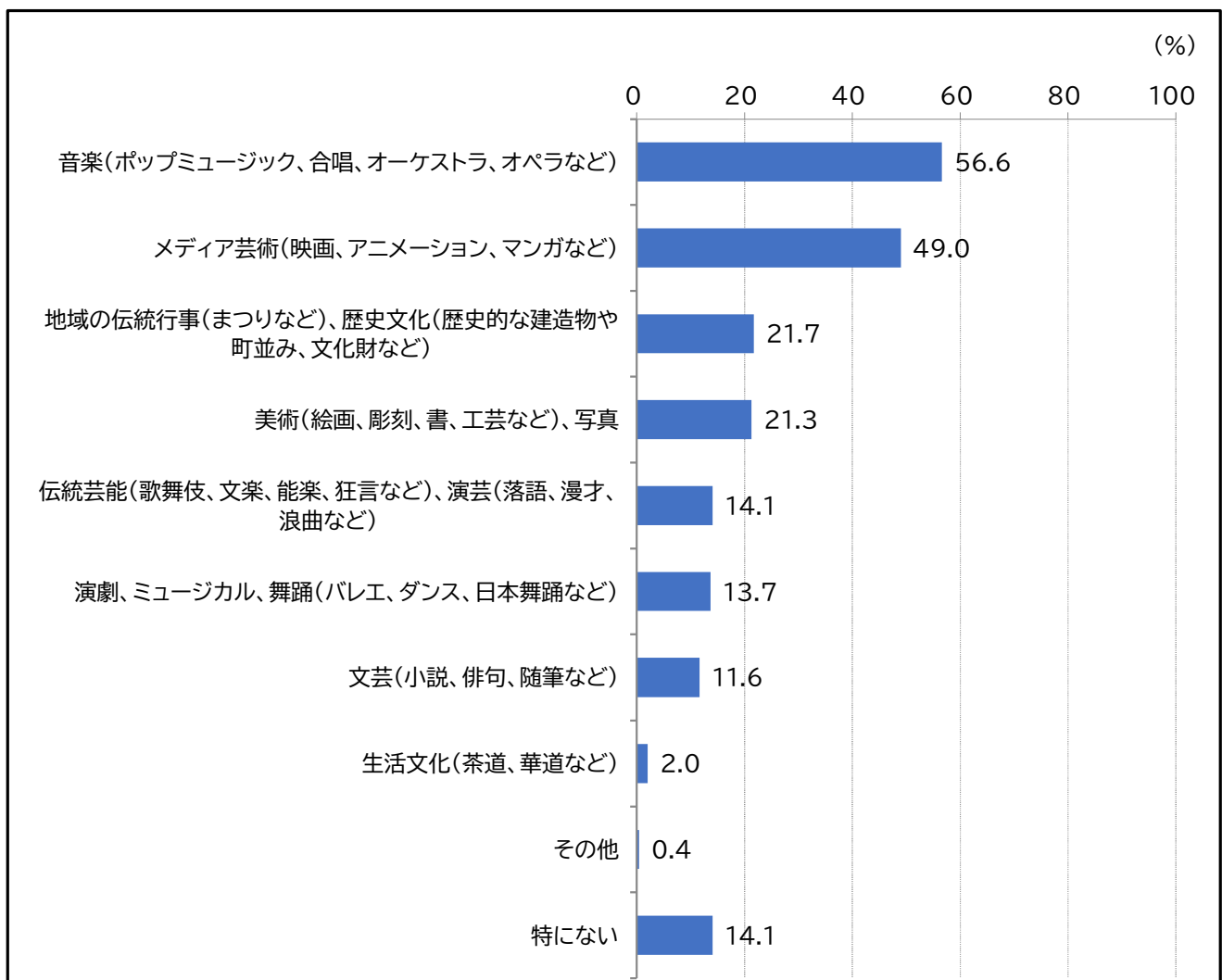
問2 問1で「特にない」以外を選択した方におたずねします。文化施設や会場等に出向いて鑑賞した理由は何ですか。
 (「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=200)

項目	人数(人)	割合(%)
作品などを「生」で鑑賞したかったため	131	65.5
非日常的な時間や空間を味わいたかったため	97	48.5
入館料などが無料・低料金であったため	47	23.5
家族や友人などが出演・出品していたため	42	21.0
文化施設や会場等に出向いてしか鑑賞できない作品のため(オンライン鑑賞を実施していないなど)	38	19.0
学校行事や地域行事として訪問したため	29	14.5
他の用事(仕事や旅行など)のついでに立ち寄る機会があったため	19	9.5
その他	7	3.5
特にない	2	1.0



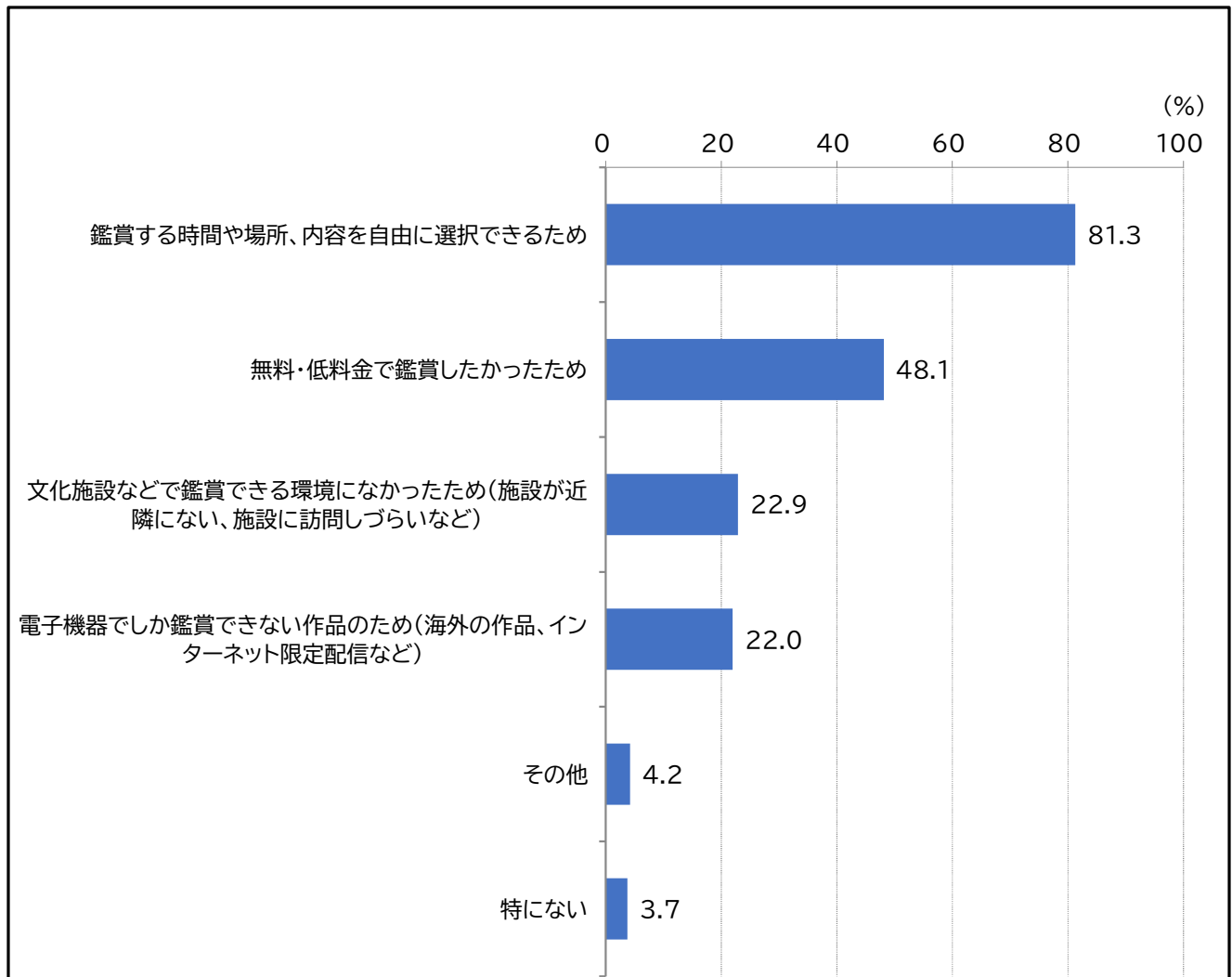
問3 過去1年間に、あなたが興味を持って電子機器(テレビ、ラジオ、パソコン、スマートフォン等)で鑑賞したものは何ですか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	141	56.6
メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	122	49.0
地域の伝統行事(まつりなど)、歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	54	21.7
美術(絵画、彫刻、書、工芸など)、写真	53	21.3
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)、演芸(落語、漫才、浪曲など)	35	14.1
演劇、ミュージカル、舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	34	13.7
文芸(小説、俳句、随筆など)	29	11.6
生活文化(茶道、華道など)	5	2.0
その他	1	0.4
特にない	35	14.1



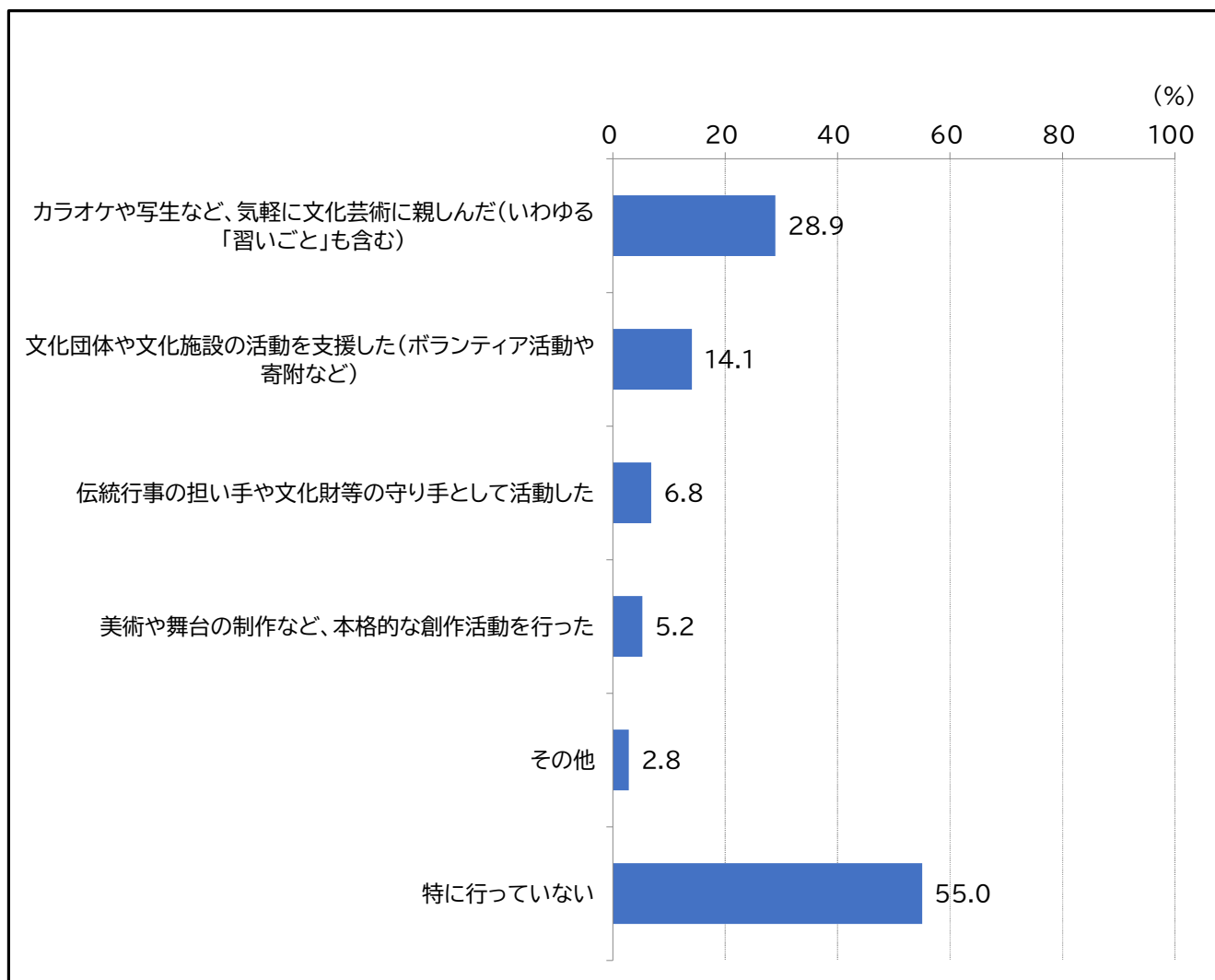
問4 問3で「特にない」以外を選択された方におたずねします。電子機器で鑑賞した理由は何ですか。（「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=214）

項目	人数(人)	割合(%)
鑑賞する時間や場所、内容を自由に選択できるため	174	81.3
無料・低料金で鑑賞したかったため	103	48.1
文化施設などで鑑賞できる環境になかったため(施設が近隣にない、施設に訪問しづらいなど)	49	22.9
電子機器でしか鑑賞できない作品のため(海外の作品、インターネット限定配信など)	47	22.0
その他	9	4.2
特にない	8	3.7



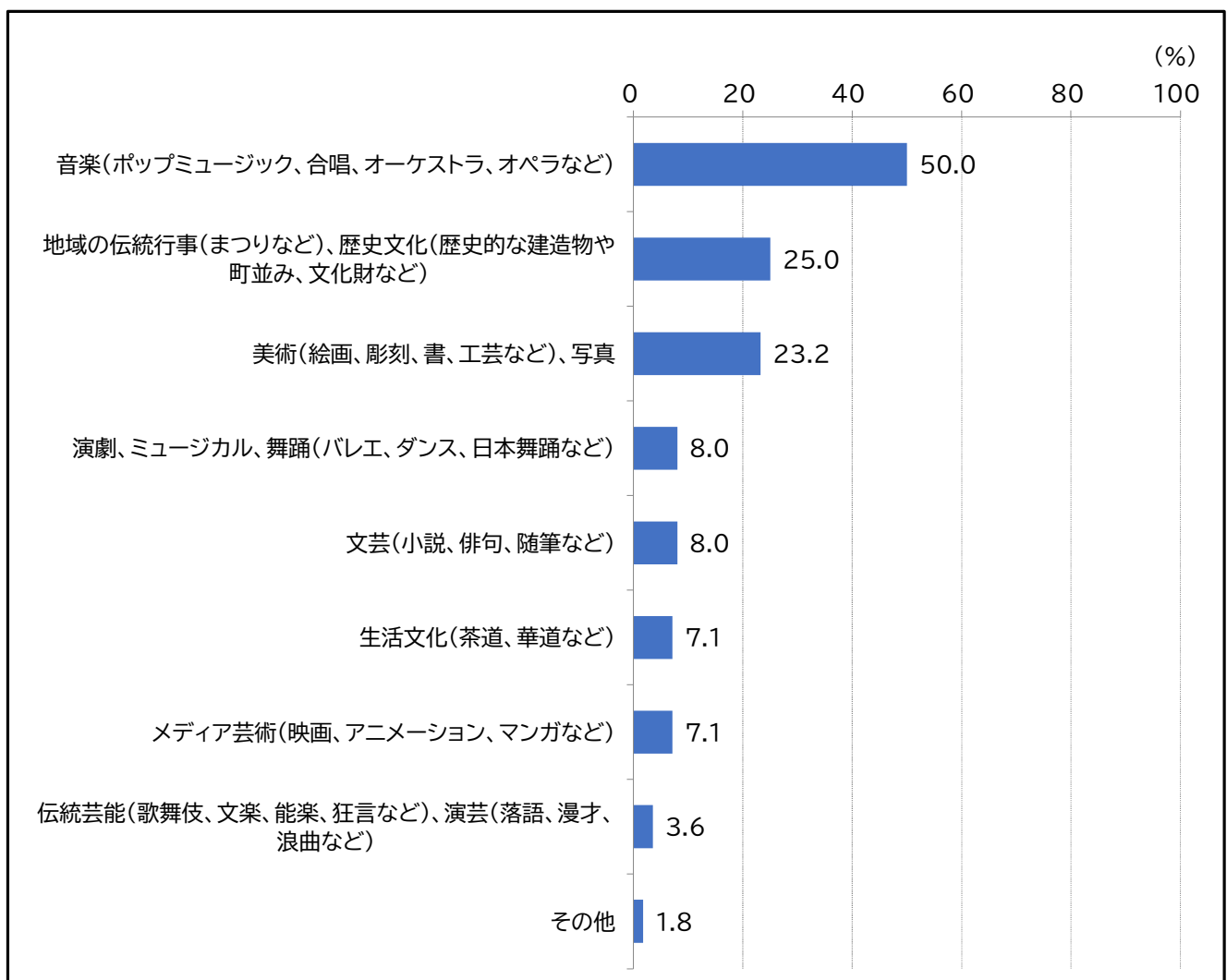
問5 過去1年間に、あなたは文化芸術活動を行いましたか。ただし、「鑑賞」のみの方は除きます。（「特に行っていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=249）

項目	人数(人)	割合(%)
カラオケや写生など、気軽に文化芸術に親しんだ(いわゆる「習いごと」も含む)	72	28.9
文化団体や文化施設の活動を支援した(ボランティア活動や寄附など)	35	14.1
伝統行事の担い手や文化財等の守り手として活動した	17	6.8
美術や舞台の制作など、本格的な創作活動を行った	13	5.2
その他	7	2.8
特に行っていない	137	55.0



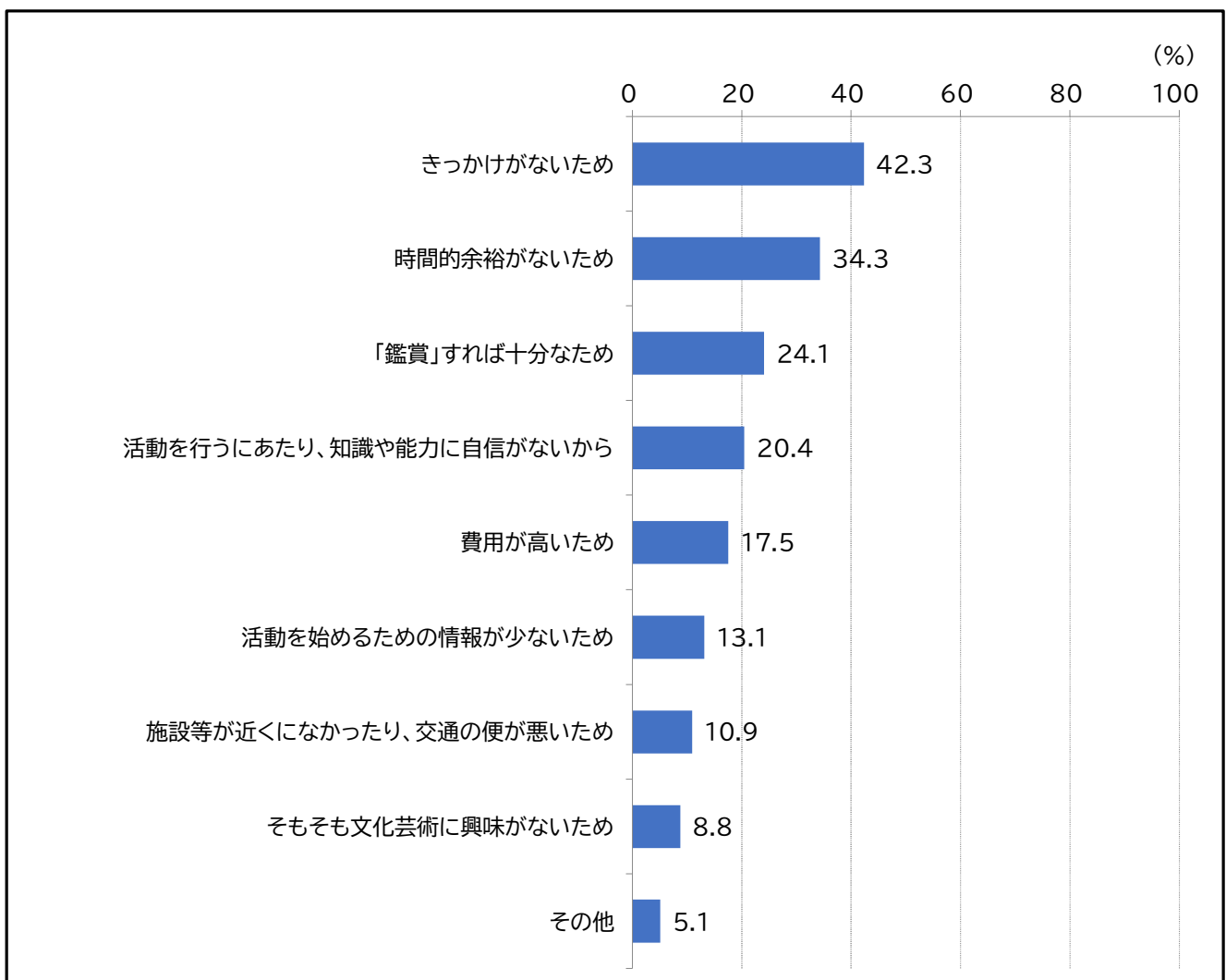
問6 問5で「特に行っていない」以外を選択された方におたずねします。活動を行ったのはどのジャンルですか。(回答チェックはいくつでも。N=112)

項目	人数(人)	割合(%)
音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	56	50.0
地域の伝統行事(まつりなど)、歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	28	25.0
美術(絵画、彫刻、書、工芸など)、写真	26	23.2
演劇、ミュージカル、舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	9	8.0
文芸(小説、俳句、随筆など)	9	8.0
生活文化(茶道、華道など)	8	7.1
メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	8	7.1
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)、演芸(落語、漫才、浪曲など)	4	3.6
その他	2	1.8



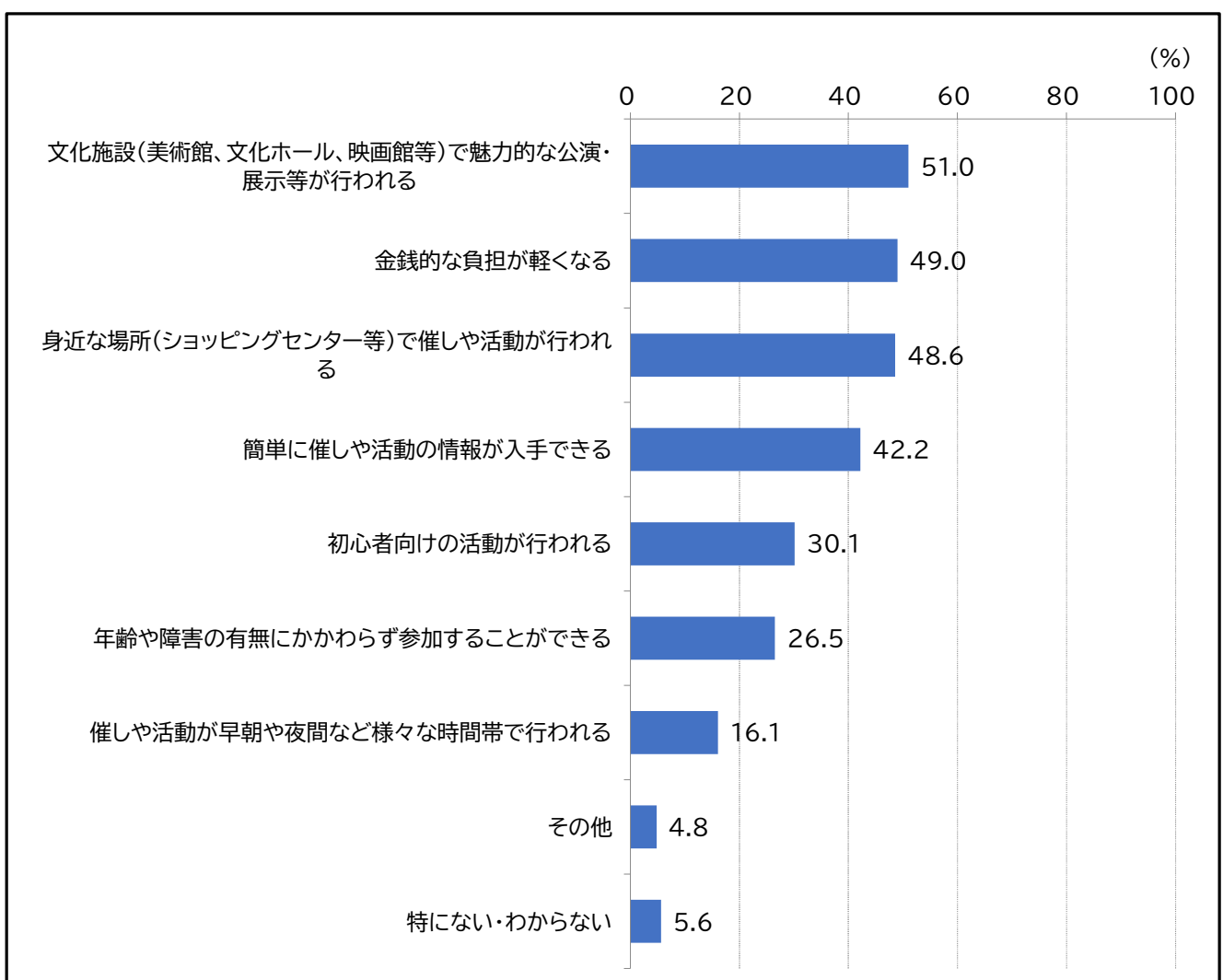
問7 問5で「特に行っていない」を選択された方におたずねします。活動を行わなかった理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも。N=137)

項目	人数(人)	割合(%)
きっかけがないため	58	42.3
時間的余裕がないため	47	34.3
「鑑賞」すれば十分なため	33	24.1
活動を行うにあたり、知識や能力に自信がないから	28	20.4
費用が高いため	24	17.5
活動を始めるための情報が少ないため	18	13.1
施設等が近くになかったり、交通の便が悪いため	15	10.9
そもそも文化芸術に興味がないため	12	8.8
その他	7	5.1



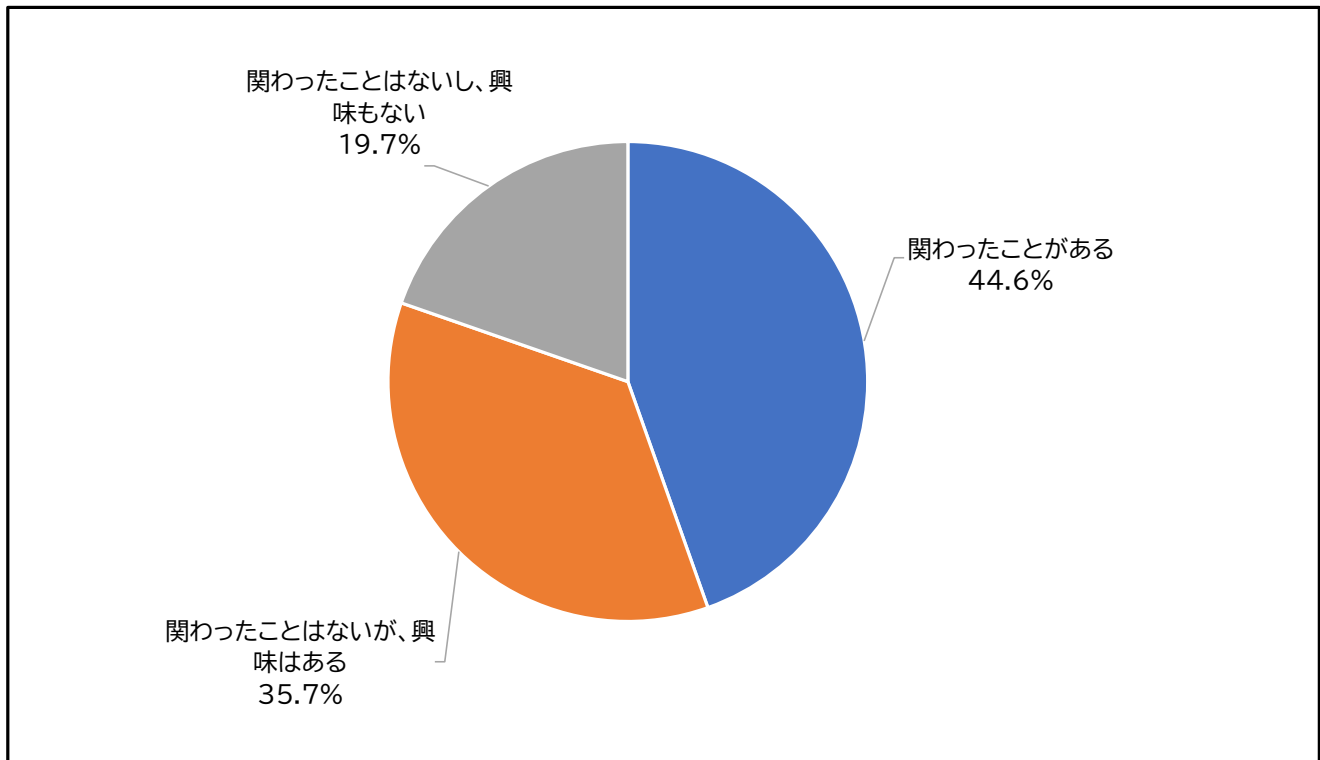
問8 あなたが文化芸術活動をしたり、見たり、支えたりするのに必要なことは何だと思いますか。(「特にない・わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
文化施設(美術館、文化ホール、映画館等)で魅力的な公演・展示等が行われる	127	51.0
金銭的な負担が軽くなる	122	49.0
身近な場所(ショッピングセンター等)で催しや活動が行われる	121	48.6
簡単に催しや活動の情報が入手できる	105	42.2
初心者向けの活動が行われる	75	30.1
年齢や障害の有無にかかわらず参加することができる	66	26.5
催しや活動が早朝や夜間など様々な時間帯で行われる	40	16.1
その他	12	4.8
特にない・わからない	14	5.6



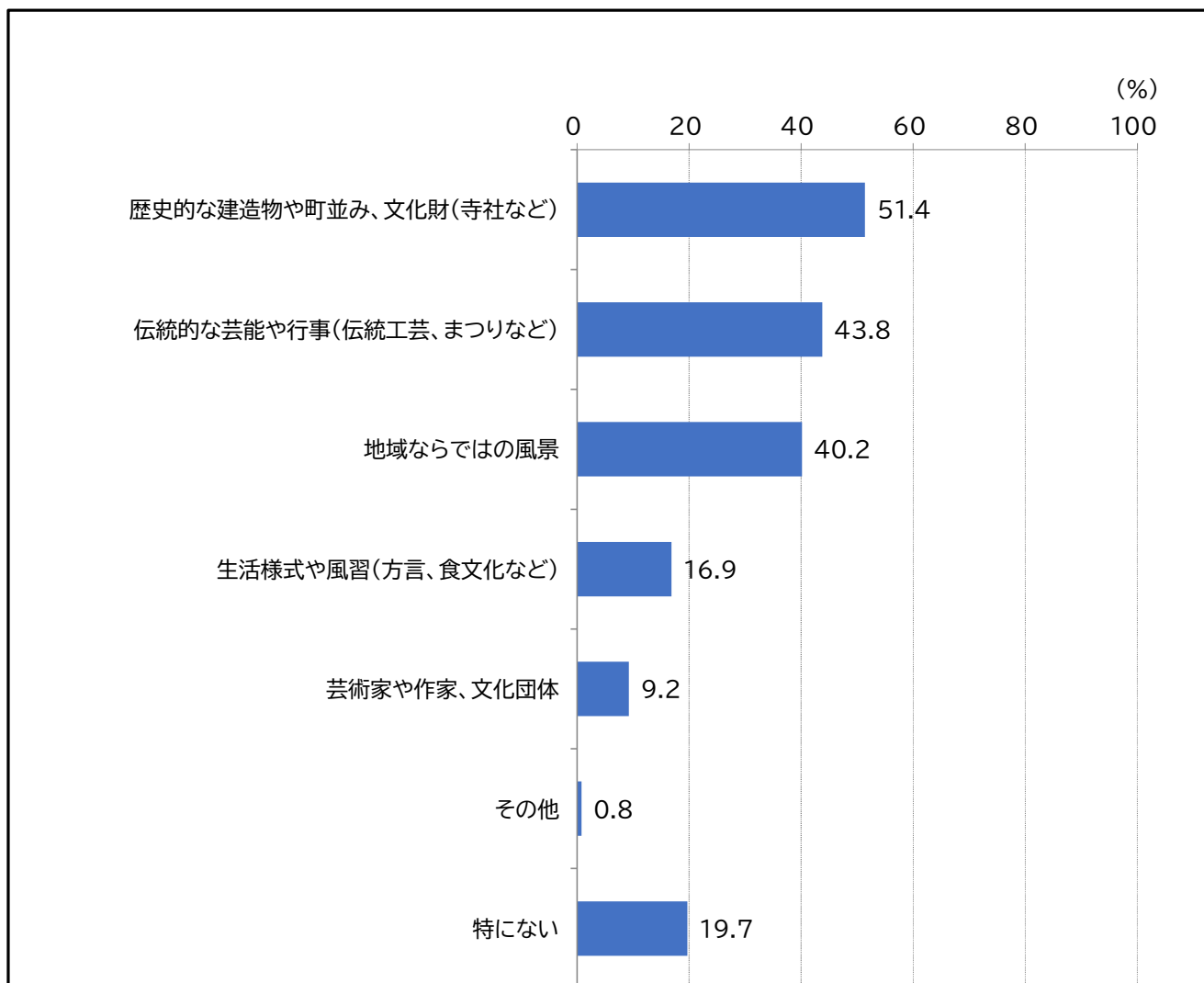
問9 あなたは、文化芸術に関するボランティア活動(地域の祭りの手伝い、家族等の発表会のサポートなども含む)に関わったことはありますか。また、興味はありますか。(N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
関わったことがある	111	44.6
関わったことはないが、興味はある	89	35.7
関わったことはないし、興味もない	49	19.7
合計	249	100.0



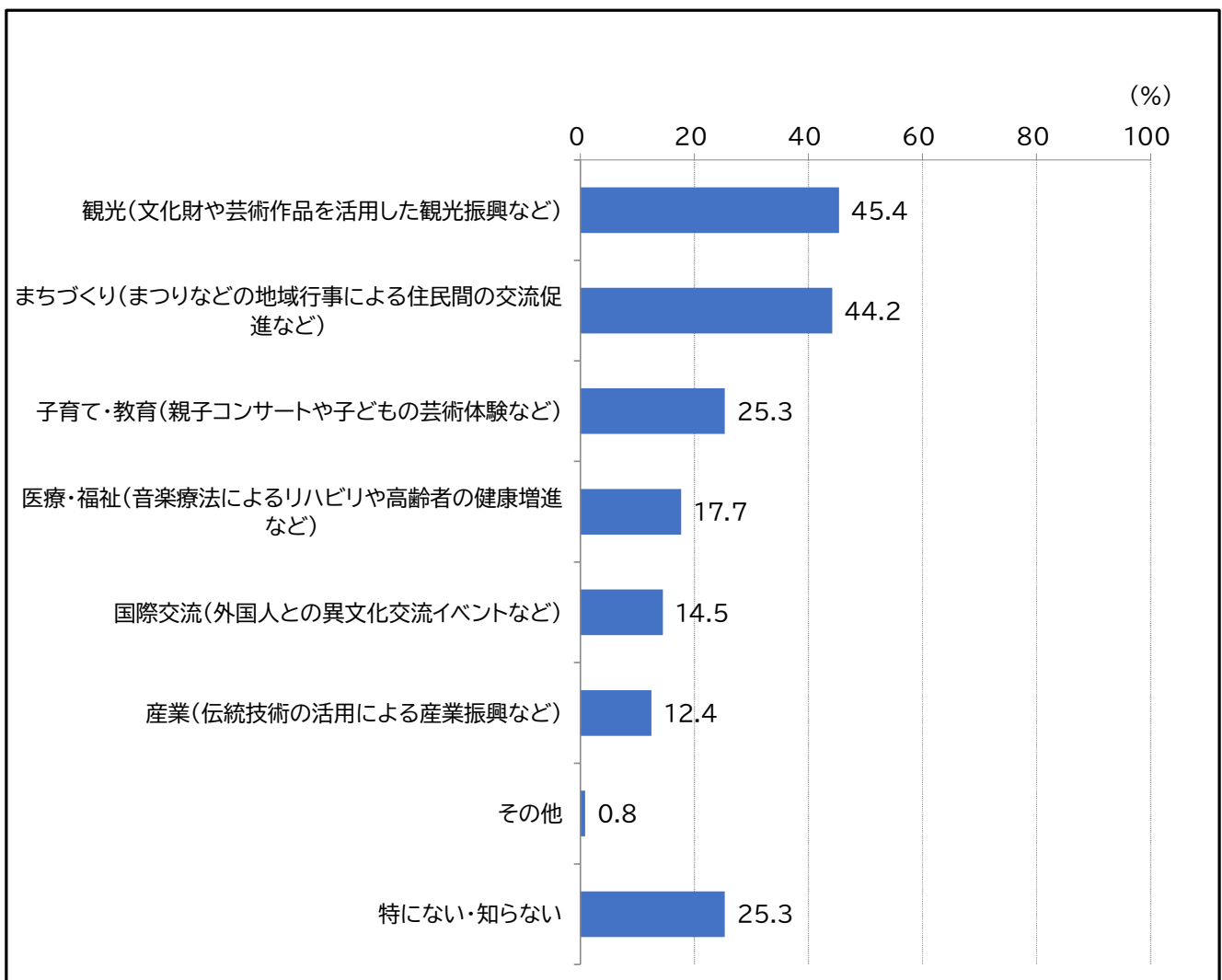
問10 お住まいの地域には、あなたが魅力や誇りを感じる文化芸術資源がありますか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
歴史的な建造物や町並み、文化財(寺社など)	128	51.4
伝統的な芸能や行事(伝統工芸、まつりなど)	109	43.8
地域ならではの風景	100	40.2
生活様式や風習(方言、食文化など)	42	16.9
芸術家や作家、文化団体	23	9.2
その他	2	0.8
特にない	49	19.7



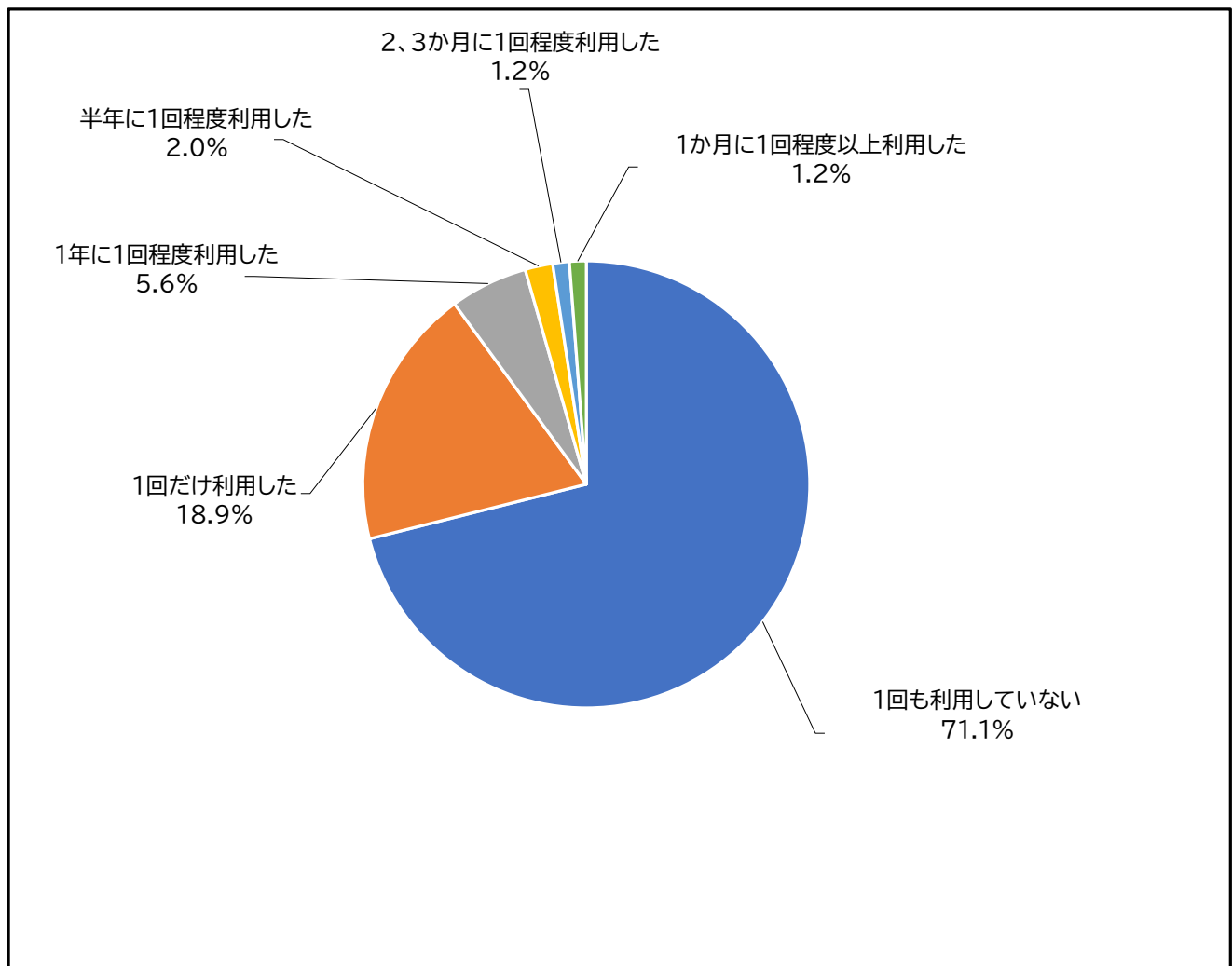
問11 近年文化芸術の持つ様々な力(例:感動、共感等を生み出す力)を観光や福祉等の他分野に活用する取組が広がっています。あなたの身の回りで文化芸術の持つ力が活用されている分野はありますか。(「特にない・知らない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
観光(文化財や芸術作品を活用した観光振興など)	113	45.4
まちづくり(まつりなどの地域行事による住民間の交流促進など)	110	44.2
子育て・教育(親子コンサートや子どもの芸術体験など)	63	25.3
医療・福祉(音楽療法によるリハビリや高齢者の健康増進など)	44	17.7
国際交流(外国人との異文化交流イベントなど)	36	14.5
産業(伝統技術の活用による産業振興など)	31	12.4
その他	2	0.8
特にない・知らない	63	25.3



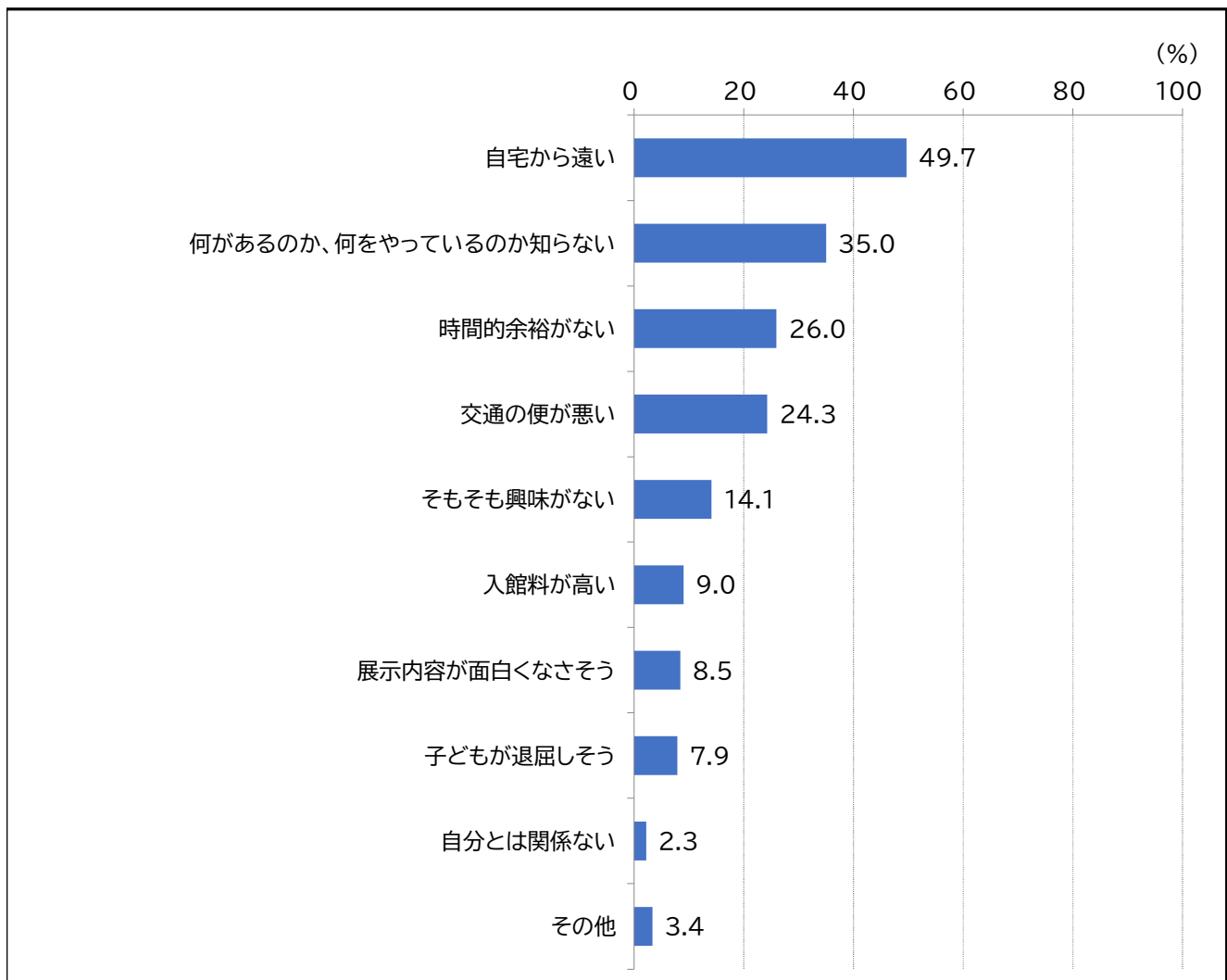
問12 滋賀県立美術館は、改修工事のための一時休館後、2021年6月に再開館し、約3年が経過しました。あなたは、再開館後、滋賀県立美術館を利用しましたか。(N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1回も利用していない	177	71.1
1回だけ利用した	47	18.9
1年に1回程度利用した	14	5.6
半年に1回程度利用した	5	2.0
2、3か月に1回程度利用した	3	1.2
1か月に1回程度以上利用した	3	1.2
合計	249	100.0



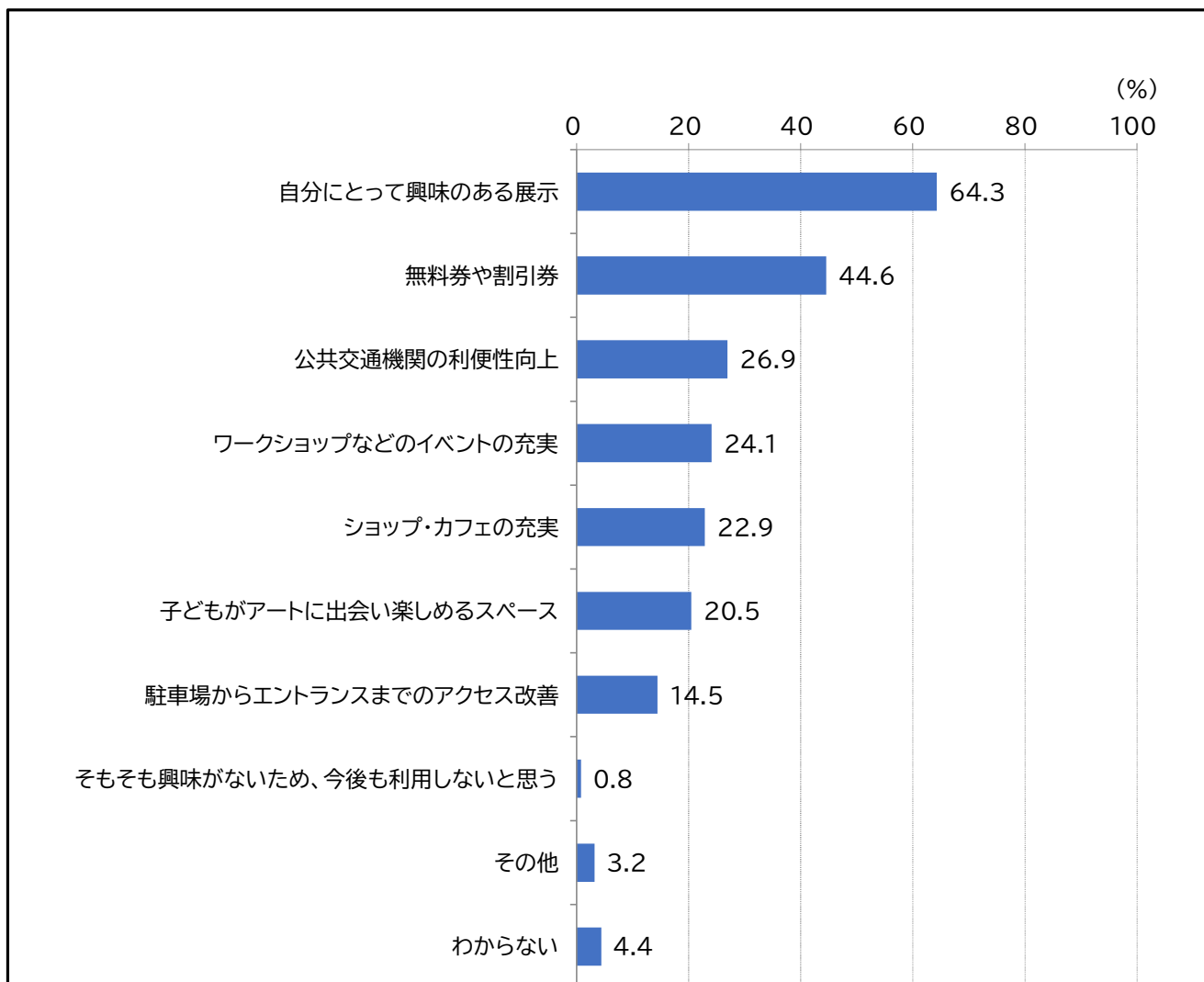
問13 問12で「1回も利用していない」を選択された方におたずねします。利用しなかった理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも。N=177)

項目	人数(人)	割合(%)
自宅から遠い	88	49.7
何があるのか、何をやっているのか知らない	62	35.0
時間的余裕がない	46	26.0
交通の便が悪い	43	24.3
そもそも興味がない	25	14.1
入館料が高い	16	9.0
展示内容が面白くなさそう	15	8.5
子どもが退屈しそう	14	7.9
自分とは関係ない	4	2.3
その他	6	3.4



問14 あなたは、滋賀県立美術館にどのような機能や取組等があれば利用されますか、または利用頻度が増えると思いますか。(「そもそも興味がないため、今後も利用しないと思う」「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=249)

項目	人数(人)	割合(%)
自分にとって興味のある展示	160	64.3
無料券や割引券	111	44.6
公共交通機関の利便性向上	67	26.9
ワークショップなどのイベントの充実	60	24.1
ショップ・カフェの充実	57	22.9
子どもがアートに出会い楽しめるスペース	51	20.5
駐車場からエントランスまでのアクセス改善	36	14.5
そもそも興味がないため、今後も利用しないと思う	2	0.8
その他	8	3.2
わからない	11	4.4



問15 その他、滋賀県の文化芸術の振興に向けて、ご意見などがありましたらお聞かせください。(抜粋、一部要約)

<情報発信について>

- ・ 展示内容の事前告知は早めにしてもらえると予定が立てやすい。また展示期間中も行きたくなるようなSNSの発信は重要だと思う。可能であれば県内の美術館や博物館、祭などの情報をまとめたSNSなどがあればわかりやすいです。
- ・ 滋賀県の文化芸術の振興に関連する情報発信を多様な方式にしてほしい。税制審議会のようにネットでの傍聴や会議後の議事録・配布資料の公開タイミングの早期化を目指してほしい。
- ・ どの施設でどのような展示や催し物があるのかをPCやスマホを活用して見っていますが、新たに増えた内容が適時にラインやメールで送信されるとわかりやすいと思っています。

<後継者不足について>

- ・ 滋賀には、地域のお祭りが数多く存在すると思う。当然各地域が主体となって開催、継続されているのであろうが、それらの祭りが発展しながら続けていくには、資金的なバックアップが必要になってくると思う。人については、各地域が主体となって育てていかないと確保されないと思うが、続ける為に基本となる資金援助は不可欠であり、まず根づいている地域の文化である各祭りが、地域の人達と一体となって続いていく事が文化芸術の振興の第一歩ではないだろうか。
- ・ 共働き世帯が増えているためお祭りなどの伝統行事も地域住民の参加協力を集めることが難しくなっています。身近なコミセンなどで文化芸術を行ってくれる団体が増えたらいいと思う。
- ・ 日本で文化芸術があまり大切にされていないと思う。芸術分野が職業として成立していないと思う。仕事で食べていけないと担い手も育たず、次世代へ継承もままならない。人が人間らしく生きていくために文化芸術は必要不可欠。そこにお金と時間をかけることが重要だ。

<文化芸術に触れる機会について>

- ・ 文化芸術に触れる機会の提供についてですが、平日昼間の募集が多く、土日の設定が少ない。また、子供向けは多く、中高年層向けは少ないように感じる。
- ・ 出来れば、平日の昼間の公演をふやしていただければ、移動も安全だし、電車等もすいているので有難いと思います。平日昼間の方が動きやすいという人も世間にはすくなく居ると思うので、是非実施していただきたいと思います。
- ・ 守山駅の東口エリアの開発が進んでいるので、ストリートピアノを設置して時おりコンサートを開催できたら、駅前の賑わいにつながるかと思えます。

<子ども・若者の文化芸術について>

- ・ 公立・私立の区別なく小中高の教育機関にもっとPRすべきです。常駐展示物の魅力や、滋賀県の文化に触れることの有用性等。また子供たちへの無料開放の日も設けることが必要かと思えます。
- ・ 子どもにとってよく行く場所、知ってる場所にするために多目的ルームをもっと活用し人を呼び込むといいと思う。昨今、習い事は細分化され料金も上がっている傾向にあるのでひとつの施設に安く呼び込むのはいいと思います。子どもからお年寄りまでみんなが通えるといいですね。
- ・ とにかく小さい頃からオーケストラや舞台、芝居に触れさせてあげてほしい。子供の小学校で、親子観賞会があったけれど、「興味ないから帰る」という声がきこえて残念に思った。貴重な観劇の機会なのに、それをラッキーと思う気持ちが根付いていないのが勿体無い。

<県立美術館について>

- ・ 県立美術館は周囲の庭園を含めて施設としては一級品だと思うが、展示内容に魅力が少なく、訪れる機会が少ない。展示品については関西あるいは西日本の主な美術館と連携して定期的に作品をバスターする等、限られた予算でも展示に新鮮味をもたらすことはできないのでしょうか？
- ・ 美術館に行きたいけれど、小さい子を連れて行きづらい。小さい子を連れて行っても大丈夫な日にちや時間を作ってほしい。家族連れでも楽しめる展示を多くしてもらいたい。

<アクセスについて>

- ・ 文化芸術はとりあえず広く浅くだと思う。だれでもいつでも気軽に参加できて、身近に文化施設などがあっていつでも利用できる環境が理想だ。
- ・ 滋賀県の文化芸術の振興については、関心はあるものの湖東地域にいるため、なかなか身近に感じられない。無料券などの施策を積極的に展開し、少しでも利用できるようにしてほしいし、出張公開などの企画なども検討してもらいたい。

<文化財について>

- ・ 滋賀県が保有する国宝や国指定の重要文化財等の数は全国上位です。現代に生きる我々滋賀県民は、先人から受け継いだ文化芸術の気質を途絶えさせることなく育てていく責務があると思います。まずは地域の伝統文化、芸術を行政が中心となって、掘り起こし継承していく体制を構築することが必要だと思います。県は行政として、全国に誇れる滋賀県の歴史的な文化芸術を全国に発信して、県民のアイデンティティを高めていくことに期待します。
- ・ 文化財が眠っている。講演、催し、移動なども考えて、発想の転換をして下さい。

<その他>

- ・ 文化振興基本方針を初めて見ましたが、広く網羅しているが、項目が多く、全てを同じレベルで振興するのは不可能であります。滋賀らしい重点の中の重点を議論するべきだと思います。
- ・ 地元滋賀であってほしいのは古典タイプの舞台に未就学児でも気軽に参加できる(声を出しても可・途中退席可・無料など)機会があったり、新しいアーティストとの出会いがもっとであると嬉しいなと思います。